翌檜（あすなろ）新聞

志賀錄

第2号
2020.1.31
第74代
伊敷中生徒会

誰かのためにできること

気付くことから始まるボランティア

奉仕活動

11月9日（土）に奉仕活動の時間がありました。「ボランティア活動とは何か」ということを各クラスで話し合いました。また、自分たちでできるボランティア活動について、様々な場面を想定しながら意見を交流しました。

ボランティアについて話し合う一年生

話合いを通して二年六組の小畑絵里子さんは、「ボランティアをするためにいろんなことに気付けるようになりたい。」と話していました。

私もボランティアでまず大切なのは、「気付く」ことだと思います。誰も気付かないような小さなことにも気付いて行動できる人は、日頃から人のために何かできることはないか意識しているのではないでしょうか。また、行動を起こすためには、「周りに流されない」勇気も大切となると思います。

これから計画されている奉仕活動の時間が、小さなことにいち早く気付いて、誰かのためにそっと動ける、かっこいい人になるきっかけとなればと思います。

（宮ノ前那海）

地域で見付けた奉仕の心

私たちは、奉仕活動の時間にボランティアについて考えましたが、地域の中でボランティアをしてくださっている方がたくさんいらっしゃいます。

今日はその一人、福山さんにお話を伺いました。福山さんは、いつも私たちの安全を考え、街頭補導してくださっています。

福山さんは伊敷中のOBで、ご夫婦で故郷に移住してきたそうです。そこで、子供たちの役に立つことを実践したいと考え、保護員になられたそうです。保護員になることができて光栄だと話されていました。

また、「子供は世界の宝です。子供たちの役に立てることは幸せです。みんなが毎日元気で通学してくれることが何よりのやりがいです。」と語ってくださいました。

福山さんの後輩である私たち伊敷中生に対して「私は郷中教育の教材の一つである『島津いろは歌』で育ちました。学問やスポーツも大切ですが、優しさや思いやりが人生で一番大切です。自分と同じように友達を大切に生きてください。」とメッセージをくださいました。

福山さんのように、日々私たちのために活動してくださっている方が大勢います。私たちは誰かに支えられています。支えられるだけでなく支えることができる自分も意識していきましょう。

（宮ノ前那海）

サンクスサンフラワー

ありがとうの気持ちを表現

11月26日から12月11日は人権週間です。今年も人権週間の取組の一つとしてサンクスサンフラワーを作りました。今年もみんなが小さいハートの中に感謝の気持ちを表しました。「いつもいっしょに遊んでくれてありがとう」、「勉強を教えてくれてありがとう」など、これまでの自分と人とのつながりを振り返りながら「ありがとう」の気持ちを表現するサンクスサンフラワー。みなさんが書いた「ありがとう」のメッセージを読むと心が温まります。人にしてもらったありがとうを、今度は自分が、他の人に返していく。そういう「ありがとう」の連鎖が生まれていくことは、人と人を思いやる雰囲気づくりにつながります。今年も各学年すばらしいありがとうの花が咲きました。お互いを思いやる心、行動について、これからも考えていきましょう。

FACE

1年3組　田中流雲くん

元気なあいさつは周りの雰囲気を明るくしてくれます。みなさんは元気なあいさつを心掛けていますか。

今回のFACEはいつも自分から進んで元気なあいさつをしている一年三組の田上流雲くんにインタビューしました。

Q1　あいさつに大切なものは何か。

A1　大きな声と笑顔で、相手に向かって元気なあいさつをすることです。

Q2　あなたにとっての「あいさつ」とは。

A2　元気がない朝でも、たった四文字で元気な朝に変えるすばらしい「おまじない」です。

Q3　いつもどんな気持ちで「あいさつ」をしているか。

A3　みんなの朝をとても気持ちの良いものにしたい、自分も良い朝を過ごしたいという気持ちであいさつをしています。

Q4　最後に一言お願いします。

A4　あいさつは、自分も相手も良い気分にしてくれるすばらしい「おまじない」なので、みなさんも元気よくあいさつをしましょう。

一人一人の元気のよいあいさつで明るい伊敷中を作っていきましょう。

（武　大叶）

生徒会の窓

今年話題になった言葉に贈られる「新語・流行語大賞」が12月2日に発表されました。ノミネートされた言葉は、「タピる」や「スマイリングシンデレラ」など、今年注目された新語がありましたが、私の目にとまったのはラグビー日本代表のスローガンとなった「ONE TEAM」です。この言葉は、日本代表を率いるジェイミー・ジョセフヘッドコーチが掲げたものです。「どんな強豪チームでも選手たちの思いが一つにならなければチームとして機能しない」。ジョセフコーチは、国籍を問わず、チームに必要な選手たちを招集しました。集まったメンバーは、七か国の海外選手を含む31人。さまざまな国から集まった選手たち。文化や習慣が違う人たちが、同じ目標をもち、同じ仲間だという意識をもち「ONE TEAM」として戦ったからこそ、あれだけの活躍につながったのだと思います。

「ONE TEAM」そのために必要なこと、皆さんは何だと思いますか。自分たちのクラスが「ONE TEAM」になるために必要なこと、それをクラスみんなで考え行動していくことが大事だと思います。

今のクラスで過ごすのは残り三か月。最後までそれぞれのクラスが「ONE TEAM」を目指していきましょう。（牟禮こころ）

愛される学校を目指して

74代生徒会役員の意気込み

74代となった生徒会。23名の役員が中心となって活動をしています。二年生の生徒会役員の意気込みを紹介します。

①74代の目標を漢字一文字で
②伊敷のLoveなところ、その理由

生徒会長　中島知希
①元　自分から毎日を元気に過ごし、学校全体を元気にしたい。
②校長先生が優しい。いつもみんなに優しく声を掛けてくださいます。

副会長　牟禮　こころ
①創　スローガンにもあるように生徒全員で伊敷中を創っていきたい。
②主体的に行動できているみんなが考えて行動できている。

書記　東　遼太郎
①進　会長をサポートしつつ、よりよい伊敷中にしていくために一致団結して進んでいきたい。
②「TEAM 伊敷」みんなで協力して、一つの大きなことを成し遂げていくことがとてもかっこいい。

会計　田中　樹菜
①愛　みんなで思いやりがたくさんある学校にするために愛情をもって生活したい。
②主体性　先生たちに頼ってばかりではなく、自分たちで判断して動ける。

生活部部長　野崎亜依子
①新　学校専門部会など、74代の色を出して学校をより良くしたい。
②掃除を無言でできる。みんなが黙々と作業をできるのはすごい！と思う。

庶務部部長　石原田理々子
①整　カバン棚の整理・整頓を徹底したい。
②挨拶　元気が良くて、気持が良い。

美化部部長　末永　諒馬
①綺　美化部として学校を綺麗にしたい。
②元気　みんなが元気だから学校が明るい。

図書部部長　迫　千陽
①話　みんなの前に立って話すことがあまり得意ではないので、うまく話せるようになりたい。
②挨拶　小学校では先生方に挨拶をしていなかったので伊敷中に来てびっくりした。

体育部部長　師玉　海汰
①忙　とにかく忙しいと思う。これからもがんばりたい。
②生徒が主体となって動いている。

保健部部長　浜田　颯介
①思　相手のことを思った言動がしたい。
②主体性　自分たちで考えて行動できる。

広報部部長　宮ノ前　那海
①心　挨拶を「楽しいから、嬉しいからする」という意識付けをしていきたい。挨拶で優しくて大きな心をもってほしい。
②校長先生の「おはよう」毎日、安心できるし、今日もがんばろうと思える。

学習部部長　池田　唯花
①誠　昔から好きな漢字で、「何事にも誠実にまっすぐ向き合おう」という気持ちを込めて。
②皆が動いてくれる。生徒会役員だけでなく、周りの他の人たちにも支えられて伊敷中生徒会が成り立っている。

一年生もこのメンバーでがんばります。

生徒副会長　熊迫健心　町田歩未
生活副部長　堀切勇気
庶務副部長　田中三四郎
美化副部長　中村陽菜
図書副部長　宝蔵僚太
体育副部長　肥後美紀
保健副部長　徳満陽香
広報副部長　武大叶
学習副部長　下園秋乃

74代のスローガンは「We Love 伊敷」。みんなに愛される伊敷中を創るため、生徒会役員一丸となってがんばります。全校生徒のみなさんも一人一人が生徒会の一員であるという自覚をもって活動に取り組んでもらえるとありがたいです。ご協力よろしくお願いします。

（末永諒馬・師玉海太）

スローガン発表をする74代役員

スローガンについて話し合う74代役員

鹿児島弁を身近なものに

方言で地域の人とつながる良さに気付いた

11月10日（日）、鹿児島県民交流センターで鹿児島弁フェスティバルが開催されました。鹿児島弁をこよなく愛する校長先生からのお誘いで、伊敷中生もボランティアとして参加しました。

会場には小さい子供からお年寄りの方まで広い世代の人たちがいらっしゃって、それぞれが、鹿児島弁を楽しんでいました。

ボランティアスタッフとして参加した一年五組の草宮廣太郎くんは、「子供たちだけでなくおばあさんやおじいさんも楽しんでいたことが印象深かった。今まで標準語で話していたが、鹿児島弁で、地域の人とつながる良さに気付いたので、これからは日常的に使ってみたい。」と話していました。

最近、「鹿児島弁昔話」なども話題になっているようです。そこで、鹿児島弁クイズを作ってみました。

【鹿児島弁クイズ】
「むぜ」、「いした」、「よんごひんご」、「しったいのさん」の意味は何でしょう。

正解は「かわいい」、「あちゃ～」、「くねくね」、「とてもたいへん」です。全問正解できましたか。

他にもたくさん知らない鹿児島弁があると思います。温かい独特の鹿児島らしさをもつ「鹿児島弁」。

他にもどんなものがあるか、ぜひ、調べて普段の会話で使ってみましょう。

（熊迫健心）

ボランティアに参加した伊敷中生と校長先生

編集後記

今回は奉仕活動や鹿児島弁フェスティバルなどの記事を載せました。みなさんのボランティアに対する興味が高まるといいなと思っています。

74代のコンセプトは「人の輪がつながる新聞」。今回は、伊敷中生以外の人との輪もつながればと、地域の方へもお話を伺いました。翌檜新聞を通して、様々な人の輪を広げていきたいと思います。

みなさんも取り上げてほしい記事があるときはぜひ翌檜部員にお知らせください。

（武大叶）